

ひょうごらくのうメモ

11

2025NOV



表紙： 第16回全日本ホルスタイン共進会での1枚！

フルカラー版は組合ホームページから
ご覧いただけます。



発行： 兵庫県酪農農業協同組合
神戸市西区伊川谷町潤和1058
西神文化センター3階

生乳生産統計

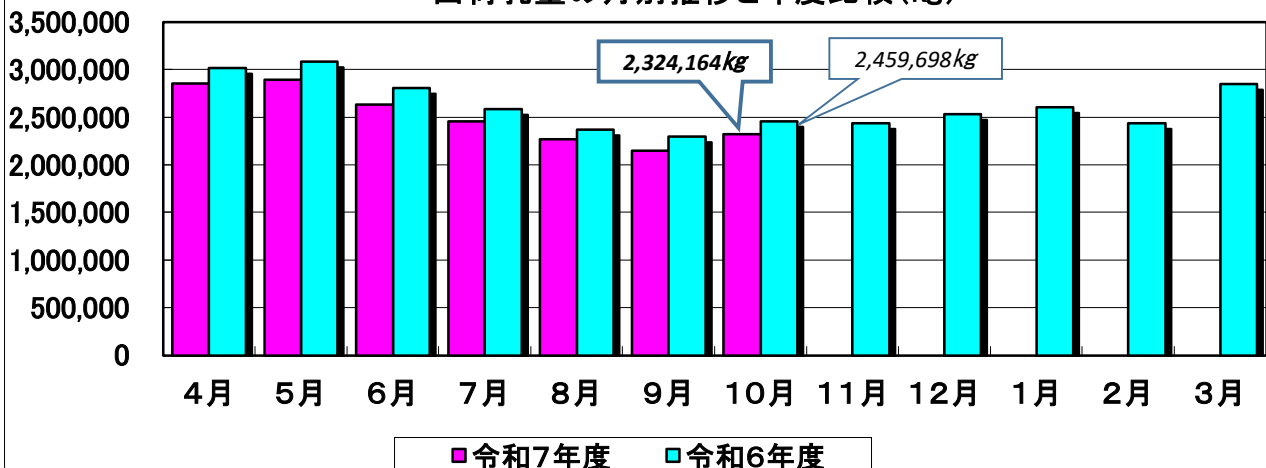
1. 全国(令和7年9月・農林水産省牛乳乳製品の生産動向より)

			生乳生産量 (千トン)	対前年比 (%)
令和	7年	4月	644.8	101.5
令和	7年	5月	663.4	101.2
令和	7年	6月	627.9	101.9
令和	7年	7月	613.8	101.2
令和	7年	8月	604.1	102.0
令和	7年	9月	580.4	100.2
令和	7年	10月		
令和	7年	11月		
令和	7年	12月		
令和	8年	1月		
令和	8年	2月		
令和	8年	3月		
令和	7年度	累計	3,734.5	101.3

2. 兵庫県酪農協取扱い分(公共施設除く)

地 区	令和 7年 10月		年度累計		出荷農家 戸 数
	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	
阪神地区	404,589	92.5	3,051,694	90.4	16
播州地区	276,587	86.0	2,091,897	89.8	13
丹但地区	218,796	96.0	1,642,162	97.6	12
淡路地区	1,424,192	96.7	10,786,674	95.9	63
合 計	2,324,164	94.5	17,572,427	94.3	104

出荷乳量の月別推移と年度比較(kg)



全日本ホルスタイン共進会 報告



10月25, 26日、10年ぶりに開催された第16回全ホルに兵庫から6頭が出品され同行しました。

全日本ホルスタイン共進会は、「乳牛のオリンピック」とも呼ばれるだけあり、全国から選りすぐりの美しい乳牛が一堂に会する光景は圧巻の一言でした。酪農に関心のある方はもちろん、そうでない方も楽しめるイベントだと感じました。

特に印象的だったのは出品牛を最高の状態に調整し、共進会に臨む酪農家の方々の牛に対する愛情と、改良への情熱を強く感じました。リードする技術にもそれぞれの工夫が見られ、牛と人との信頼関係が伝わってきた素晴らしい大会でした。 ...K



◆ 主な行事予定 ◆

11月

17日～21日 会計実地検査（兵庫県）

19日 女性部合同親睦会視察（京都市）

20日 令和7年度上期監査会

23日 伊弉諾神宮 新嘗祭（伊弉諾神宮）

26日 乳用初妊牛展示販売会（洲本市五色町）

27日 全国酪農協会理事会・酪農基本対策委員会（東京）

もう～もう～スクール（加古川市立氷丘小学校）

28日 もう～もう～スクール（丹波市立黒井小学校）

12月

1日 職員会議（WEB）

4日 もう～もう～スクール（丹波篠山市立今田中学校）

5日 もう～もう～スクール（洲本市立洲本第二小学校）

8日 生乳の異味異臭体験プログラム研修会（淡路農技センター）

参考情報

淡路家畜市場情報

令和7年10月第2金曜日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
F1 スモール	メス	今回	14	199,179	260,700	110,000			55		
		前回	7	215,600	278,300	73,700			59	-16,421	-7.6%
		前年	18	78,283	150,700	13,200			55	120,896	154.4%
	オス	今回	11	220,400	284,900	132,000			58		
		前回	7	263,529	374,000	133,100			54	-43,129	-16.4%
		前年	10	111,980	190,300	28,600			55	108,420	96.8%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
ホルス スモール	メス	今回									
		前回									
		前年									
	オス	今回	1	22,000	22,000	22,000			52		
		前回	2	19,800	22,000	17,600			56	2,200	11.1%
		前年	2	6,600	11,000	2,200			61	15,400	233.3%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

* 前は令和7年9月第4金曜日・前年は令和6年10月第2金曜日

令和7年10月第4金曜日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
F1 スモール	メス	今回	19	132,347	201,300	22,000			56		
		前回	14	199,179	260,700	110,000			55	-66,832	-33.6%
		前年	11	84,500	188,100	11,000			56	47,847	56.6%
	オス	今回	18	147,156	225,500	60,500			56		
		前回	11	220,400	284,900	132,000			58	-73,244	-33.2%
		前年	13	87,069	166,100	50,600			57	60,087	69.0%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
ホルス スモール	メス	今回									
		前回									
		前年									
	オス	今回	3	17,967	25,300	7,700			48		
		前回	1	22,000	22,000	22,000			52	-4,033	-18.3%
		前年	2	9,350	12,100	6,600			54	8,617	92.2%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

* 前は令和7年10月第2金曜日・前年は令和6年10月第4金曜日

隣県家畜市場情報

乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)	
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数
4年次	61,056	878	68,011	1,060	60,809	224	70,776	85,621
5年次	29,220	543	34,615	1,067	23,993	117	50,602	71,669
6年次	33,585	464	32,402	1,042	32,296	50	47,081	65,478
6	1	30,056	34	38,463	90	取引なし	46,203	5,796
	2	33,259	34	33,658	92	14,300	46,549	5,562
	3	36,770	49	29,348	103	31,625	50,541	5,500
	4	42,848	42	34,354	78	41,800	64,268	5,843
	5	45,385	27	39,921	87	71,989	89,493	4,627
	6	62,924	54	63,092	59	75,900	128,836	4,102
	7	72,515	13	66,370	64	42,460	77,057	5,333
	8	40,288	40	38,341	86	取引なし	21,444	5,951
	9	20,618	39	22,641	92	10,560	16,885	5,533
	10	10,310	51	13,786	115	4,840	16,303	6,355
	11	15,636	42	18,724	79	2,200	18,892	5,502
	12	17,064	39	16,637	97	7,071	22,413	5,374
7	1	16,067	33	20,782	84	取引なし	27,344	5,796
	2	23,257	35	24,903	76	1,100	42,173	5,025
	3	29,838	40	30,755	74	16,500	68,621	5,487
	4	76,696	112	67,711	27	29,700	86,848	5,787
	5	62,984	31	67,442	38	32,175	104,366	4,564
	6	80,911	18	90,035	25	31,900	119,074	4,568
	7	78,232	25	125,788	34		83,086	5,711
	8	48,251	37	47,139	57	38,500	42,988	5,630
	9	46,536	72	35,468	49	2,200	41,130	6,108
	10	48,919	53	35,897	52	39,325	41,860	5,696
	11							
	12							

交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)	
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数
4年次	157,307	6,259	149,060	3,820	190,213	1,918	135,855	174,435
5年次	122,559	6,136	118,800	3,797	164,470	1,740	94,892	180,638
6年次	128,605	5,764	133,192	4,175	175,217	1,401	112,269	174,340
6	1	96,405	549	93,851	244	116,838	71,742	15,916
	2	105,955	496	106,128	402	139,177	89,564	15,252
	3	124,959	434	118,804	294	172,915	107,578	14,641
	4	149,621	580	155,327	325	203,810	127,307	14,983
	5	209,525	369	188,358	362	212,019	165,311	13,062
	6	243,157	309	233,689	268	236,406	207,580	10,699
	7	202,896	390	199,813	270	251,198	169,484	13,621
	8	127,372	371	137,538	354	209,105	96,371	14,272
	9	110,706	583	127,049	388	169,291	87,532	15,289
	10	78,990	627	94,268	492	137,013	77,530	17,498
	11	85,004	467	90,266	382	144,203	88,472	14,687
	12	105,577	589	105,319	394	162,103	105,694	14,420
7	1	113,308	535	120,105	322	187,600	112,008	14,837
	2	143,766	573	150,335	324	230,056	158,652	13,048
	3	176,271	565	171,449	295	215,955	194,356	12,757
	4	223,428	525	232,287	311	262,511	218,663	13,432
	5	261,174	453	254,719	361	294,911	238,092	11,864
	6	299,867	333	297,813	243	345,779	262,505	10,365
	7	301,814	430	297,328	352	374,034	241,430	12,627
	8	268,665	386	251,341	354	339,621	192,008	13,281
	9	214,669	702	232,794	426	318,175	180,789	15,501
	10	163,732	616	166,400	470	251,849	169,106	16,309
	11							
	12							

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意ください。

令和7年10月乳牛市場成績

頭：千円：税込

市場名	開催日	育成牛（乳・乳系・他）				初妊牛（乳・乳系・他）				経産牛（乳・乳系・他）			
		成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値
釧路	10/3	167	340	110	213								
十勝	10/6					575	1,451	79	649	92	959	165	480
根室	10/6	183	347	11	185								
十勝	10/9	587	517	13	265								
北海道	10/10	53	220	23	146	116	679	239	489	11	462	103	298
北見	10/10	360	471	10	255	6	517	440	482				
根室	10/16					479	981	221	644	1	463	463	463
豊富	10/17					287	750	275	525	13	411	230	328
釧路	10/17					285	948	253	556	6	519	348	445
北見	10/20					344	934	187	548	7	559	213	395
十勝	10/21					430	1,430	156	649	41	840	169	522
豊富	10/31	237	387	47	210								
合計	12回	1,587	517	10	236	2,522	1,451	79	602	171	959	103	462

前年同月成績	12回	1,254	409	11	213	2,462	1,010	13	437	189	685	78	365
前月合計成績	10回	970	496	7	236	2,597	1,448	122	627	177	855	110	479

ホクレン乳牛市場開催日程

11月 6日(木)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)	12月 5日(金)	ホクレン北見地区総合家畜市場(佐呂間)育成
11月 7日(金)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛)育成	12月8日(月)・9日(火)	ホクレン十勝地区家畜市場(音更)
11月10日(月)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)	12月11日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場(音更)育成
11月13日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)育成	12月12日(金)	ホクレン北海道家畜市場(安平)
11月14日(金)	ホクレン北海道家畜市場	(安平)	12月15日(月)	ホクレン北見地区総合家畜市場(佐呂間)
11月21日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富)	12月19日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場(豊富)
11月24日(月)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛)	12月22日(月)	ホクレン根室地区家畜市場(中標津)
11月25日(火)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)	12月23日(火)	ホクレン釧路地区家畜市場(大楽毛)
11月26日(水)	ホクレン北見地区総合家畜市場(佐呂間)			
11月27日(木)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)		
11月28日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富)育成		

ホクレン家畜市場所在地及び担当支所（問合せ先）

市場名	市場所在地	電話番号	担当支所・課	電話番号
北海道家畜市場	勇払郡安平町早来新栄4番地	0145-22-4109	苫小牧支所 酪農課	0144-36-1431
豊富地域家畜市場	天塩郡豊富町上サロベツ569番地の1	0162-82-3150	稚内支所 酪農課	0162-34-2131
十勝地区家畜市場	河東郡音更町字音更西2線3-1	0155-42-2231	帯広支所 酪農課	0155-42-2231
北見地区総合家畜市場	常呂郡佐呂間町西富127番地2	01587-2-2689	北見支所 酪農課	0157-23-9003
釧路地区家畜市場	釧路市大楽毛86番地1	0154-57-8457	釧路支所 酪農課	0154-23-6163
根室地区家畜市場	標津郡中標津町南中10番2	0153-72-1366	中標津支所 酪農課	0153-72-9967
ホクレン本所 酪農部 家畜販売課	札幌市中央区北4条西1丁目3番地	011-232-6188		

☆家畜車の手配につきましても、各市場担当課にて承っておりますのでご相談下さい。

北海道乳牛産地情報

(令和7年11月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	3.0～3.0	横張り	札幌管内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内が月計99.2%・累計101.7%、苫小牧管内が月計98.7%・累計100.0%となっております。
	初妊牛	5.8～6.8	横張り	11月の初妊牛動向といたしましては、1月下旬～2月中旬の分娩が中心となります。出回りの腹別の資源状況については、雌雄選別腹、F1腹ともに調々な状況です。和牛受胎卵移植頻度につきましても出回り資源はございますのでご相談下さい。相場については、先月同様に横張りで推移するものと見込まれます。高能力牛が出回る地域となりますのでご希望がございましたらぜひお問い合わせください。
	経産牛	3.5～4.5	横張り	札幌管内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、網走管内が月計101.3%・累計103.6%、中標津管内が月計99.1%・累計101.4%となっております。
釧路管内	育成牛(10-12月令)	2.0～3.0	横張り	11月の初妊牛動向といたしましては、1月下旬～2月中旬分娩が中心となります。価格帯につきましては、先月に引き継ぎ横張りとなっておりますが、雌雄選別腹が軟調に推移しており、出回り頭数の多い地域では全体の相場を下げざる要因となっております。
	初妊牛	5.8～6.8	横張り	腹別では、F1腹・和牛受胎卵移植頻度が低調に推移しており、引き継ぎ雌雄選別腹との価格差が生じる見込みです。育成牛、経産牛は初妊牛と同様に横ばいで推移すると見込まれます。
	経産牛	3.5～4.5	横張り	帯広管内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、月計101.2%・累計103.8%となっております。
帯広管内	育成牛(10-12月令)	2.0～3.0	横張り	11月の初妊牛動向といたしましては、1月下旬～2月中旬分娩が中心となり、冬分娩中心となります。出回りの腹別の資源状況については、雌雄選別腹、F1腹ともに頭数を確保できる状況です。腹別の相場については、雌雄選別腹が軟調に推移しており、F1腹が低調に推移している状況です。和牛受胎卵移植頻度については、大きな変化なく横ばいで推移しております。育成牛については、夏分娩が期待される二ヶ月の出回りですので、価格は横ばいで推移すると予想されます。経産牛については引き継ぎ道内の引き合いが強くなり、先月同様に横ばいに推移すると見込まれます。
	初妊牛	5.8～6.8	横張り	道北管内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内が月計101.6%・累計101.0%、北見管内が月計100.9%・累計102.1%となっております。
	経産牛	4.0～5.0	横張り	11月の初妊牛動向といたしましては、1月下旬～2月中旬分娩が中心となり、冬分娩中心となります。出回りの腹別の資源状況については、雌雄選別腹、F1腹ともに資源は豊富にあり頭数を確保できる状況です。需要も落ち着き、出回り頭数も豊富なため相場につきましても横ばいで推移すると思われれます。経産牛については、乳価上昇により秋口にかけて即殺力牛の需要が高まると見込まれ、価格は低調に推移し横ばい推移となる見込みです。
道北管内	育成牛(10-12月令)	2.0～3.0	横張り	道内全体の10月中旬までの生乳生産量前年比は月計100.4%・累計102.2%となっております。
	初妊牛	5.5～6.5	横張り	北海道内においては、初雪を視察する地域もあり、すっかり冬の気候となっております。11月の初妊牛動向といたしましては、都府県からの購買需要も夏場よりも増えてきている事から、初妊牛を中心に引き合いはあるものと思われれます。道内諸農家からの出回り資源も多岐にわたりますので、価格帯については、先月に引き継ぎ横ばいで推移するものと思われれます。雌雄選別精液の稼働は継続的に行われておりますが、道内の自交配保有の傾向は依然として強く、今後出回り資源が少なくなってくることも予想されます。都府県の需要も落ちていますので、採乳用兼用牛の方のご予定があまりありますが、お早めにお申し込みください。
	経産牛	3.5～4.5	横張り	

※上記相場は、血統登録牛(中クラス)の優先選育購買による予想相場です。

優先選育購買のため、相場購買とは異なります。

全道酪農協同組合連合会(全道連)

札幌支所
電話011-241-0763

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り感謝申し上げます。
乳牛の購入計画がありましたる、最寄りの支所へご一報下さい。
乳牛者がお伺いし、最寄りの支所を訪問し、納得いただいた後、購買のお手付けを致します。
また、購買者の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と乳牛者がおこないます。

《各支所電話番号》
釧路支所 電話0154)52-1232
札幌支所 電話0153)78-1877
帯広支所 電話0155)37-6051
道北支所 電話0165)2-2368

令和7年11月10日

輸 入 粗 飼 料 の 情 勢

全酪連大阪支所
酪農生産研究会

北米コンテナ船情勢

北米西海岸を中心とする航路では、混雑が緩和する傾向が見られていましたが、年末商戦に向けた貨物の増加や船腹スペースの減少により滞船が発生し、本船スケジュールに乱れが生じています。

欧州航路では、スエズ運河近くの紅海でイエメンの親イラン武装組織フーシ派による商業船への攻撃が相次いだことを受け、各船社はスエズ運河の航行を見合わせ、南アフリカの喜望峰経由へと航路変更をしていました。しかし、イスラエルとハマスの停戦合意が成立したことにより、一部の船社は紅海の通航を再開し始めました。現段階では試験的再開ですが、全面再開となれば、航海日数の大幅な短縮、船運賃の削減、接続港の混雑緩和が期待されます。

北米航路における船腹予約状況は8月11日に正式署名された関税停止の延長措置により市場は落ち着きを見せていましたが、10月下旬以降、年末商戦を見据えた前倒し出荷と北米西岸や東岸港湾での混雑の再燃により増加しています。

ビートパルプ

25-26年産ビートは各産地で製造が終盤に差し掛かっています。一部の地域では降雨被害が発生し、ペレットの生産量減少が懸念されています。欧州やメキシコ、米国内での需要も堅調に推移しており、新穀の大半が既に成約済となっています。

アルファルファ

【ワシントン州】

主産地であるワシントン州コロンビアベースンでは、大半の圃場で25年産の収穫作業が終了しています。25年産は春先の生育に適した冷涼な気候が続いていましたが、中～南部の地域では降雨被害が発生したことで1番刈は上級品が限定的となりました。2番刈は好天に恵まれたことで色目が綺麗な品質が多く収穫され、3～4番刈は降雨被害や山火事による煙の影響を受け中～低級品が中心の発生となりました。

輸出向けは低調な需要が続いておりましたが、徐々に中東や中国、韓国から引き合いが増えてきており産地相場は堅調に推移しています。

【オレゴン州】

主産地であるオレゴン州クラマスフォールズでは4番刈の収穫作業が終了しています。降雨の影響で1～3番刈の収穫スケジュールが遅れたことにより4番刈まで生産した圃場は例年より減少しています。4番刈は1～3番刈までの降雨で圃場が湿っていることで、原料草に多く水分を含み乾燥に時間を要したことから、葉付が悪いアルファルファも一部で発生していますが、大半は高成分の品質が中心で米国内酪農家向けに高値で取引されています。

同州クリスマスバレーでは3番刈の収穫作業が終了しています。クラマスフォールズ同様に収穫スケジュールが遅れましたが、収穫期の天候に恵まれたこともあり、上級品が中心となっています。

【カリフォルニア州】

カリフォルニア州南部のインペリアルバレーでは、DIP（休耕地政策）を行っていない圃場で6番刈の収穫作業が終盤を迎えており、7番刈の収穫作業が開始されています。産地では気温が冷涼になっていることから成分値は回復し始めています。

灌漑局の発表によると、10月15日時点でのアルファルファの作付面積は138,083エーカーとなっており、前年同期の139,302エーカーからやや減少しています。

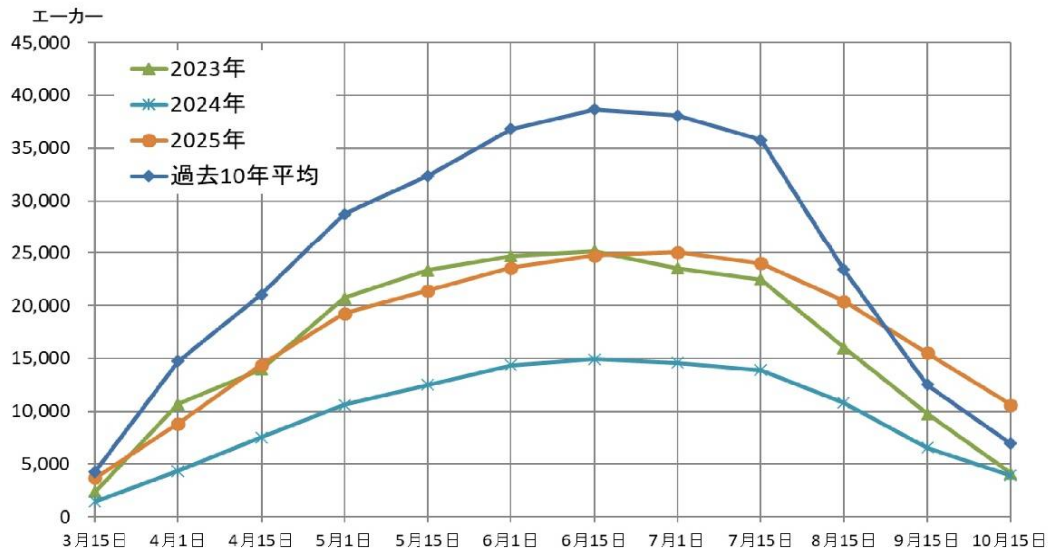
米国産チモシー

主産地であるワシントン州コロンビアベースンおよびエレンズバーグでは25年産の収穫作業が終了しています。1番刈は冷涼な気候の中、生育が進んだこともあり、上級品の発生が中心で中～低級品の発生は限定的となりました。2番刈についても天候に恵まれたことで、茶葉が少ない馬糧向けの上級品の発生が中心となりましたが、収穫が進むにつれ降雨も発生し、中～低級品も発生しました。上級品中心となった作柄により需要は堅調に推移しています。

スーダングラス

主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、25年産の収穫作業が終了しています。一部の輸出業者が保有していた旧穀在庫も解消されたことにより、25年産の作付面積は増加しましたが、産地相場の低迷が続き、生産農家の作付意欲が低下したため、2番刈を行わず1番刈で収穫を終了した圃場も多く見られました。

灌漑局によると、10月15日時点でのスーダングラスの作付面積は10,613エーカーで、前年同期の3,947エーカーから増加しています。



インペリアルバレー スーダングラス作付面積推移（単位：エーカー）

クレイングラス（クレインは全酪連の登録商標です）

主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、大半の圃場で25年産の収穫作業が終了しています。DIP 終了後に収穫された圃場では、茎が固く茶葉が多い低級品の発生が中心となっています。

灌漑局の発表によると、2025年10月15日時点でのクレイングラスの作付面積は24,595エーカーとなっており、前年同期の22,624エーカーから増加しています。

韓国で自給飼料が不足していることに加え、オレゴン州でのストロー在庫も逼迫していることあり低級品の需要は堅調に推移しています。

バミューダ

主産地であるカリフォルニア州インペリアルバレーでは DIP 終了後の圃場で、種子生産とストロー生産が行われています。安価な繊維源としてストローの需要は堅調に推移しています。

2025年10月15日時点での作付面積は88,752エーカーとなっており、前年同期の78,842エーカーから増加しています。

ストロー類（フェスキュー・ライグラス）

主産地であるオレゴン州ウィラメットバレーでは、収穫作業が終了しています。米国产チモシーの低級品が限定的となったことや韓国向けで自給飼料不足により需要は

堅調に推移しています。

カナダ産チモシー

主産地であるアルバータ州南部レスブリッジ地区では、2番刈の収穫作業が終盤を迎えています。収穫された2番刈は良品も発生していますが、水分を多く含んだチモシーもあり輸出向けには適さないため、国内向けに出荷される見通しです。25年産の1番刈は8月下旬に収穫が終了しましたが、断続的な降雨の影響を受け、上級品の発生は限定的となったため、馬糧向けとの買付競争もあり、需要は堅調に推移しています。

豪州産オーツハイ・ウィートストロー

25年産オーツハイの収穫作業が各地域で順調に進んでいます。

西豪州：

概ね収穫作業が終了しています。10月上旬に降雨がありましたが、例年と比較すると30%程度の降水量のため、収穫された品質に大きな影響は出でらず上級品の発生が期待されています。収量については、生育期間中の天候に恵まれたことにより、多くの地域で例年並～例年以上の見込みとなっています。ウィートストローについては現在収穫作業が開始されています。

南豪州：

収穫作業は終盤戦を迎えています。10月は例年をやや上回る降水量となりました。昨年は記録的な干ばつで輸出向けに適さない品質が大半となりましたが、今年は生育期間中に適度な降雨もあり、見た目が良好な上級品も収穫される見通しです。収量は例年をやや下回ると予想されています。

東豪州：

収穫作業は中盤戦を迎えています。10月は例年を上回る降水量となりました。一部の圃場で降雨被害が出ていますが、生育期の天候に恵まれたこともあり、上級品も発生しています。今後も断続的に降雨予報も出ており、収穫や乾燥が遅れる可能性も出ているため、品質の懸念も出ています。

また、豪州航路においては、世界的なコンテナ需要の増加に伴い、本船スケジュールの遅延が継続しています。11月以降はサンクスギビングデーや、年末にかけてコンテナ需要が高まることも予想されており、スケジュールへの影響が懸念されているため注視が必要です。

以上

全ホル写etc！

